

水道水源における消毒副生成物前駆物質汚染対応方策について  
(取りまとめ) 骨子案

- 1 平成 24 年 5 月に利根川水系で発生した水道水質事故の概要
- 2 水道において対応が困難な原水に含まれる物質の抽出  
    ポイント  
    水道原水への流入防止が求められる物質の抽出  
    消毒副生成物の生成メカニズムの検討  
    抽出した物質の基礎データの整理
- 3 水道原水中の消毒副生成物前駆物質等の監視の現状と課題  
    ポイント  
    ホルムアルデヒド生成能やクロラミン等、代替指標による監視の方法と実態  
    前駆物質の分析手法の開発・検討  
    関係者との連携による効果的な監視方法
- 4 水質事故発生時に備えた連絡体制整備と水道水源のリスク把握の現状と課題  
    ポイント  
    水道事業者及び流域協議会による連絡体制等の整備  
    水道水源のリスクの把握  
    原因究明のための研究機関との連携  
    流域単位の情報共有のための組織化の促進
- 5 水道側での消毒副生成物等低減対策技術の現状と課題  
    ポイント  
    消毒副生成物及び前駆物質の除去・低減技術  
    備蓄水の利用  
    他の水源への転換 等
- 6 水質事故に備えた水道における対策のあり方  
    ポイント  
    抽出した物質の排出側等における管理促進  
    水道水質事故に備えたリスク管理の向上  
    ・高度処理技術の導入  
    ・水道水質事故に備えた配水施設の容量確保  
    ・流域の工場・事業場等の立地状況を踏まえた水安全計画等の策定・見直し